

# 施策評価シート（平成30年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	1-5	政策名	農工商連携の推進	政策の 目指す姿	多様な産業が連携し、高付加価値を創出しています	施策 主管課	定住推進課	施策主管 課長名	菊池郁哉
	施策No.	2	施策名	特産品の開発	施策の 目指す姿	地場産品を活用し、付加価値の高い多くの商品を開発しています	関係課名	商工労政課、6次産業推進室		
	現状と課題	・全国的なコンクールにおいて賞を受賞するワインや老舗醬油店のつゆなどのほか、付加価値の高い商品やサービスを生み出す取り組みが行われています。 ・豊富にある地場産品の大部分は、生産者や加工業者等による従来の生産・加工・販売方法にとどまっており、農業者と商流通業者の連携による付加価値の高い商品の開発・販売は十分ではない状況です。								

## ◎ 前年度の評価の振り返り

### （前年度評価時の今後の方向性）

- ・6次産業化に取り組むには、生産から経営への意識の転換が必要なため、自らの経営資源を分析し、6次産業化計画を作成するセミナーを開催する。
- ・特区認定を契機にワイン・シードル生産を志向する方が現れており、事業化に向けた各種支援を継続的に実施するとともに、大きな負担となる施設整備に対する補助の拡充を検討する。

### （反映状況）

- ・6次産業化志向者を対象に6次産業化計画を作成することを目的としたセミナーを開催し、必要に応じて各種支援制度の活用へ誘導するなど、市や各種機関による伴走支援を行った。
- ・新規ワイナリーや既存ワイナリーの施設整備、設備導入等に対する、新たな補助支援策を制度化した。

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

### (1)特産品開発と販路拡大の支援

- 地元の農畜産物を活用した商品開発の支援
  - ・花巻産農畜産物を活用した加工品の開発に係る経費の一部を補助
- 特産品の市内普及促進
  - ・花巻産農畜産物を活用した加工品の加工施設、加工設備、販売施設、提供施設の整備に係る経費の一部を補助
- 特産品の情報発信と販路開拓支援
  - ・花巻産農畜産物を活用した加工品の広報宣伝、展示会出展等販路拡大に係る経費の一部を補助
- ワインのブランド確立への取り組み支援
  - ・先進地研修や醸造技術研修補助の実施
- 構造改革特区によるワイン・シードル等果実酒の製造支援
  - ・ワイナリー整備等に係る経費の一部を補助

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1
市の支援により地場産品の高付加価値化に取り組んでいる事業所数	地場産品を活用し、高付加価値に取り組むことで、農業所得が向上する効果を生み出し、地場産業が活性化していることを示す指標	農工商連携事業の補助により高付加価値化の取り組みを行っている事業所数	社	目標値	6	6	6	6	6	6
				実績値	3	0	4	2	3	
地場産品の高付加価値化への取り組みを継続している事業所数	農商工連携事業補助金活用事業所の事業継続状況を示す指標	年度末における事業の継続状況を確認対象:過去に6次産業化補助金を活用した事業所	社	目標値	20	26	32	27	33	39
				実績値	17	17	21	14	15	

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>■成果指標「市の支援により地場産品の高付加価値化に取り組んでいる事業所数」・・・【達成度c】 6次産業化セミナーの参加者は100人を超え、具体的内容の相談も17件程度あり、興味や関心のある事業者は一定程度以上存在するものの、ビジネスプランを作成するまでに至っていない事業者が多数存在し、これらの底上げが必要となっている。</p> <p>■成果指標「地場産品の高付加価値化への取り組みを継続している事業所数」・・・【達成度c】 平成29年度内に事業継続を断念した事業者が9事業所と多かったことから、目標値を大幅に下回る結果となった。</p>

**4 施策を構成する事務事業一覧**

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度		成果
	事業内容(活動実績)		対象 直結度	意図 直結度	
1-1	6次産業化推進事業	定住推進課6次産業推進室	一致	直結	C
	6次産業化志向者を対象に、専門的知識やスキルを習得し、6次産業化計画を作成することを目的としたセミナーを開催(セミナー開催回数:8回、延べ参加者数:104人)				
1-2	6次産業化推進事業	定住推進課6次産業推進室	一致	直結	C
	地元の農畜産物を活用した付加価値の高い新商品の開発や販路拡大等を支援(農工商連携補助金交付件数:3件、交付金額:1,186,000円)				
2-1	花巻クラフトワイン・シードルブランド化推進事業	定住推進課6次産業推進室	一致	直結	C
	醸造技術の習得・向上を図るため、志向者の研修受け入れに対する支援、醸造技術・ワイナリー経営セミナーを開催(醸造技術習得支援補助金交付件数:2件、交付金額:115,000円/セミナー開催回数:4回、延べ参加者数:29人)				
2-2	花巻クラフトワイン・シードルブランド化推進事業	定住推進課6次産業推進室	一致	直結	C
	新規ワイナリー参入や既存ワイナリーの商品開発、設備投資等を支援(ワイナリー整備等事業費補助金交付件数:10件、交付金額:11,249,000円)				
2-3	花巻クラフトワイン・シードルブランド化推進事業	定住推進課6次産業推進室	間接・ 少数	間接・ 補完	C
	ワイン産地としての認知度向上のため、ワインツーリズムツアー及び首都圏でのプロモーションイベントを開催(ツアー実施日:H30.10.14、参加者数:205人/イベント実施日:H30.7.21~22、参加者数:47人)				

**5 施策を構成する事務事業の検証**

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)</p> <p>・なし</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)</p> <p>・6次産業化に興味・関心のある事業者が一定程度存在しており、事業化に向け継続的な支援を行っていく必要がある。 ・本市がワイン産地であるとの認識がまだ低いことから、ワイン産地としてのPRを進めていく必要がある。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか)</p> <p>・なし</p>
--

**6 施策の総合的な評価**

<p>(課題)</p> <p>・6次産業化推進事業については、事業者によって様々な課題があることから、事業者のニーズに沿った支援を行う必要がある。 ・醸造技術の習得・向上のためのセミナー開催などにより、ワイナリー等の新設の可能性を秘めた事業者が出てきており、経営支援のためにも販路拡大等の支援が必要になっている。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>・6次産業化に興味・関心がある事業者に対しては、引き続きビジネスプラン作成に対する支援を継続するとともに、事業着手している事業者に対しては、それぞれが抱える課題に沿ったテーマ別のセミナー等を開催し、きめ細かい支援を行っていく。 ・首都圏で行う花巻産ワインのプロモーションイベントを積極的に行うなど、経営安定のための販路拡大に資する事業を展開する。</p>
---